

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-162102
 (43)Date of publication of application : 05.06.1992

(51)Int.Cl. G05B 19/02
 G11B 15/02
 G11B 31/00

(21)Application number : 02-288761
 (22)Date of filing : 26.10.1990

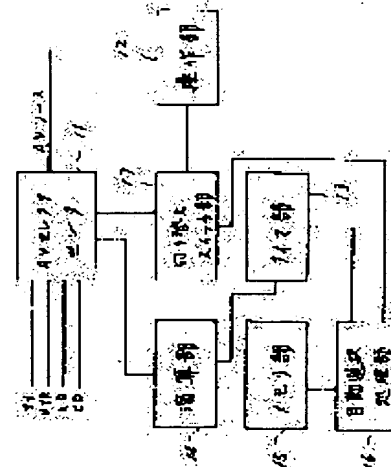
(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
 (72)Inventor : YOSHIMI OSAMU
 HIROSE TORU
 YAMAGUCHI TOSHIKO

(54) AUTOMATIC PROGRAM SELECTOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain the automatic selection of an audio video(AV) source by actuating a selection part with the repetitive selection defined as an automatic selection signal when the same selection is repeated more frequently than a certain level at the same time and on the same day of the week.

CONSTITUTION: In a normal state, a manual selection instruction signal received from an operating part 12 is outputted to an AV selector center 11 via a changeover switch 17. Then the center 11 selects an AV source corresponding to the manual selection instruction signal. At the same time, the selection data are totalized by an arithmetic part 14 based on the time/day-of-the-week data of a timer part 13. An automatic selection processing part 16 switches the switch 17 to its own side based on the time/day-of-the-week data of the part 13 when the largest totalization result of selection data exceeds a certain level at the relevant time and on the relevant day of the week. At the same time, the part 16 outputs a selection instruction to the center 11 for the largest selection data in terms of the time and the day of the week.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number]
 [Date of registration]
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-162102

⑬ Int. Cl.⁵

G 05 B 19/02
G 11 B 15/02
31/00

識別記号

3 2 8

庁内整理番号

G 9131-3H
S 8022-5D
A 6789-5D

⑭ 公開 平成4年(1992)6月5日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 自動プログラム選択装置

⑯ 特 願 平2-288761

⑰ 出 願 平2(1990)10月26日

⑱ 発 明 者	吉 見 修	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑲ 発 明 者	廣 瀬 徹	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑲ 発 明 者	山 口 逸 子	大阪府門真市大字門真1006番地	松下電器産業株式会社内
⑳ 出 願 人	松下電器産業株式会社	大阪府門真市大字門真1006番地	
㉑ 代 理 人	弁理士 森本 義弘		

明 細 書

1. 発明の名称

自動プログラム選択装置

2. 特許請求の範囲

1. 複数のオーディオ・ビデオ入力ソースの中から一つの入力ソースを選択する選択部が設けられている自動プログラム選択装置であって、手動操作による選択を手動選択命令信号として作成する操作部と、曜日と時間をカウントするタイマ部と、このタイマ部からのデータを変数として選択データを演算集計する演算部と、この演算部の集計データを記憶するメモリ部と、タイマ部の曜日時間データおよびメモリ部の集計データに基づいて、同じ曜日、同じ時間に同じ選択のある頻度を越えて何度も繰り返した場合にこの選択を自動選択命令として作成する自動選択処理部と、この自動選択処理部からの自動選択命令信号と前記操作部からの手動選択命令信号とを切り替えて何れか一方の選択命令信号を前記選択

部に出力する切り替えスイッチとを備え、前記自動選択処理部により前記切り替えスイッチを切り替え自在とした自動プログラム選択装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は複数のオーディオ・ビデオ入力ソースの中から一つの入力ソースを選択する選択部が設けられている自動プログラム選択装置に関する。従来の技術

テレビジョン受像機、ビデオテープレコーダ、コンパクトディスク、レーザー式ディスク(以下、TV、VTR、CD、LDと略す)、FM・AMラジオなどのオーディオ・ビデオの入力ソース(以下、AVソースと略す)を楽しむ場合、これらのAVソースの選択はユーザーのライフスタイルに負うことが多い。たとえば、ある曜日のある時間は決まったAVソースを楽しむということがパターン化してきている。

一般に、AVソースを楽しもうとして電源スィ

特開平4-162102 (2)

ッチを入れた場合には、以前の電源スイッチを切った時に選択していたAVソースとなったままとなっている。しかしそれでは、ユーザーが楽しみたいAVソースとは異なっている場合が多いため、すぐにAVソースの選択操作を行わなければならず、煩わしかった。たとえば、帰宅したときはTVを楽しんでスイッチを切るが、朝の目覚めはCDを聴きたいから、わざわざAVソースの再選択をするというような按配である。また、目覚めはCDで、起きたらFMラジオにするというライフスタイルもあるだろう。つまり、決まった時間に決まったプログラムが提供されれば便利である。

これに対処するものとして、特定の曜日、特定の時間に音段選択しているプログラムを予め予約するように構成した予約プログラム装置が考えられる。

この予約プログラム装置は、第2図に示すように、複数のオーディオ・ビデオの入力ソースの中から一つのAVソースを選択する選択部としてのAVセレクトセンタ1と、このAVセレクトセン

タ1に切り替えスイッチ部2を介して手動選択命令信号を出力する操作部3と、曜日と時間をカウントするタイマ部4と、選択するAVソースの曜日と時間を予めプログラム予約するための入力部6と、このプログラム予約データを記憶する予約メモリ部5とを備えている。そして、AVソースの選択とその曜日と時間とを入力部6から予めプログラム予約することにより、その曜日および時間になった際、前記プログラム予約したAVソースが自動的に選択されるものである。

発明が解決しようとする課題

しかしながら、上記予約プログラム装置では、ユーザー自らが曜日、時間、AVソースを入力部6から予め入力しなければならず、手間が掛かって使いづらいという難点があった。

本発明は上記問題を解決するもので、手間をかけることなく、音段選択しているAVソースを自動的に選択することのできる自動プログラム選択装置を提供することを目的とするものである。

課題を解決するための手段

上記問題を解決するために本発明は、複数のオーディオ・ビデオの入力ソースの中から一つの入力ソースを選択する選択部が設けられている自動プログラム選択装置において、操作による選択を手動選択命令信号として作成する操作部と、曜日と時間をカウントするタイマ部と、このタイマ部からのデータを変数として選択データを演算集計する演算部と、この演算部の集計データを記憶するメモリ部と、タイマ部の曜日時間データおよびメモリ部の集計データに基づいて、同じ曜日、同じ時間に同じ選択をある頻度を越えて何度も繰り返した場合にこの選択を自動選択命令として作成する自動選択処理部と、この自動選択処理部からの自動選択命令信号と前記操作部からの手動選択命令信号とを切り替えて何れか一方の選択命令信号を前記選択部に出力する切り替えスイッチとを備えせしめ、前記自動選択処理部により前記切り替えスイッチを切り替え自在とさせたものである。

作用

上記構成により、音段選択しているAVソース

のデータは、所定の選択頻度を越えた段階で自動選択処理部によりその曜日および時間のデータとともに自動選択命令として作成される。そして、自動選択処理部は自動選択命令の曜日および時間になると切り替えスイッチを自動選択処理部側に切り替えるとともに、自動選択命令のAVソースすなわち音段選択しているAVソースの命令信号を選択部に出力し、これにより、ユーザーが操作しなくても、その曜日、時刻に以前より頻繁に楽しんでいたAVソースが自動的に選択されることとなる。

実施例

以下、本発明の一実施例を図面に基づき説明する。

第1図に示すように、自動プログラム選択装置は、複数のオーディオ・ビデオの入力ソースの中から一つのAVソースを選択する選択部としてのAVセレクトセンタ11と、手動操作による選択を手動選択命令信号として作成する操作部12と、曜日と時間をカウントするタイマ部13と、この

特開平4-162102(3)

タイマ部13からのデータを変数として選択データを演算集計する演算部14と、この演算部14の集計データを記憶するメモリ部15と、タイマ部13の曜日時間データおよびメモリ部15の集計データに基づいて、同じ曜日、同じ時間に同じ選択をある頻度を越えて何度も繰り返した場合にこの選択を自動選択命令として作成する自動選択処理部16と、この自動選択処理部16からの自動選択命令信号と操作部12からの手動選択命令信号とを切り替えて何れか一方の選択命令信号をAVセクタセンタ11に出力する切り替えスイッチ17とを備えている。そして、自動選択処理部16により切り替えスイッチ17が切り替え自在とされている。

上記構成において、通常は操作部12からの手動選択命令信号が切り替えスイッチ17を介してAVセクタセンタ11に出力され、AVセクタセンタ11により手動選択命令信号に対応したAVソースが選択される。この時の選択データはタイマ部13の曜日時間データに基づいて演算部

14により集計される。すなわち、タイマ部13は一週間単位で日にちを、24時間単位で時間を計測しており、演算部14は各曜日、各時間における選択データを集計してメモリ部15に記憶させる。自動選択処理部16はタイマ部13の曜日時間データに基づいて、その曜日および時刻において過去最も多かった選択データの集計結果が、ある一定のレベルを越えた場合に切り替えスイッチ17を自動選択処理部16側により切り替え、同時に、その曜日および時刻において過去に最も多かった選択データの選択命令をAVセクタセンタ11に出力する。これにより、特定の曜日、特定の時刻になると、操作部12からの手動選択命令信号がなくても、以前より頻繁に楽しんでいたAVソースが自動的に選択される。

発明の効果

以上のように本発明によれば、同じ曜日、同じ時間に同じ選択をある頻度を越えて何度も繰り返した場合にこの選択を自動選択命令信号として作成する自動選択処理部を設けて、この自動選択命

令信号により選択部を作動させる構成としたので、以前より頻繁に楽しんでいたAVソースは、従来のように操作により選択したり、予約設定入力したりするなどの手間を掛けることなく、自動的に選択され、ユーザーにとって便利なものとなる。

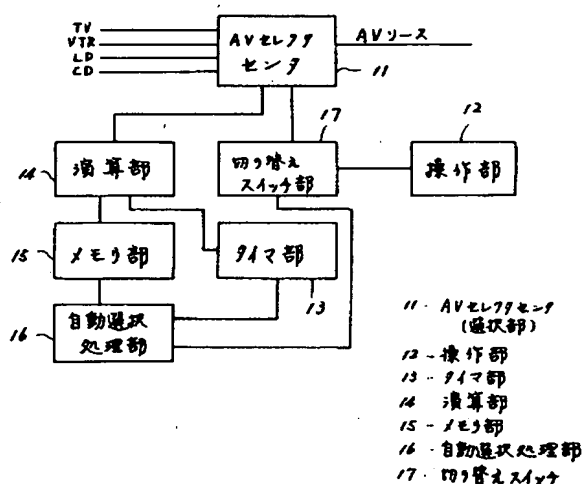
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例に係る自動プログラム選択装置のブロック図、第2図は従来の予約プログラム装置のブロック図である。

11・・・AVセクタセンタ(選択部)、12・・・操作部、13・・・タイマ部、14・・・演算部、15・・・メモリ部、16・・・自動選択処理部、17・・・切り替えスイッチ。

代理人 森 本 義 弘

第1図



特開平4-162102(4)

第2図

